

NEWS RELEASE

SHOKO CHUKIN BANK



人を思う。未来を思う。

商工中金

2020年11月30日

商工中金

商工中金が紀陽銀行と協調し、最新の瓶詰ラインを導入する純米酒蔵元の株式会社名手酒造店様を金融面からサポート

商工中金は、地域の地方公共団体や関係機関等と連携しながら、「地域経済の活性化」や「地域雇用の創造」に貢献する中小企業等を積極的にサポートしています。

商工中金（和歌山支店）は、株式会社名手酒造店様（本社：和歌山県海南市、代表者：名手孝和様）に対し、紀陽銀行（海南支店）と協調して、最新の瓶詰ライン導入に必要な資金1億3,000万円のうち、4,500万円を融資しました。

同社は、慶応2年（1866年）創業の純米酒に特化した酒造業者です。全国の産地から選び抜いた原料米を自社で精米し、紀州名水五十選のひとつ「万葉黒牛の水」で醸造される「黒牛」は、県内でも高い知名度をもち、2019年10月、大阪国税局清酒鑑評会の『吟醸酒の部』で優秀賞を受賞しました。

今回、同社は、瓶詰ラインを刷新して加熱殺菌工程を高度化、製品の品質向上と生産量増加を計画しました。従来、手作業で行っていた瓶詰の火入れを自動化するパストライザー等の最新充填システムを導入、高温シャワーによる加熱殺菌を導入することで、より生産性を高めかつ高品質の純米酒造りに取り組みます。なお、本計画には、農林水産省が実施する「輸出先国の市場変化に対応した食品等の製造施設等整備の緊急支援事業」を活用しています。

商工中金は、同社の酒蔵訪問やヒアリングにより綿密な事業性評価を実施し、Value Up レポート（※）に纏めました。その結果、本件設備投資による効果は、同社の技術力や知名度を更に高め、企業価値向上に繋がると判断。また、海外販路拡大に向けた商品開発も可能となることから、紀陽銀行と協調して必要な設備資金を融資しました。なお、海外展開については、JETROのEC販売プロジェクトを紹介する等、同社の本業面でもサポートをしています。

商工中金は、公的金融機関で唯一のフルバンキング機能を有する機関として、地方公共団体や地域金融機関等と連携しながら、地域経済の活性化に貢献してまいります。

（※）お客さまとの信頼関係を深め、課題やニーズを共有し、

企業価値を高めるために作成する事業性評価のツール。

【株式会社名手酒造店様の概要】

所在地	和歌山県海南市黒江846番地
代表者	名手 和孝様
資本金	9,050万円
従業員数	21名（2020年10月現在）
設立	1982年9月
業種	酒造業



【同社の代表銘柄黒牛】